

令和元年度第2回花巻市東和地域協議会 会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日時 令和2年2月4日(火) 午後2時30分～午後3時30分
 (2) 場所 東和コミュニティセンター 第1、2会議室

2 出席委員(出席14名、欠席1名)

区分	団体及び役職名	氏名	出欠
(1) 第1号委員 公共的団体から 推薦された者	東和地域区長会 会長	鎌田 榮一	出席
	東和地域区長会 副会長	多田 潤	出席
	土沢地域づくり会議 代表	小川 洋征	出席
	成島地区コミュニティ会議 会長	浪越 直樹	出席
	花巻商工会議所東和支部 会長	菊池 忠彦	欠席
	東和町体育協会 会長	小原 順	出席
	花巻市社会福祉協議会東和支部 支部長	小原 茂明	出席
	花巻農業協同組合女性部 花巻地域支部東和支部	小田島 邦子	出席
(2) 第2号委員 学識経験を有する者		武政 文彦	出席
		佐々木 皇子	出席
		小原 千賀子	出席
		松葉 孝博	出席
		小原 喜代美	出席
		小原 さおり	出席
(3) 第3号委員 公募委員		平野 悠広	出席

3 市側出席者

総合政策部(3名)

部長 市村 律

秘書政策課長 菅野 圭、秘書政策課企画調整係長 瀬川 千香子

秘書政策課企画調整係主査 吉田 真彦

健康福祉部(1名)

地域医療対策室長 長山 義博

教育委員会(4名)

教育委員会教育長 佐藤 勝、教育部長 岩間 裕子、教育部こども課長 今井 岳彦

教育部こども課課長補佐 新淵 ゆかり

東和総合支所(7名)

支所長 小原 一美、地域振興課 課長 清水 辰哉、市民サービス課 課長 俵 恵、
 地域振興課地域支援室地域支援監 及川 恒雄、地域振興課課長補佐 菊池 泉、
 地域づくり係長 高橋 正憲、地域振興課地域支援室主査 糸川 拓真

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 花巻市過疎地域自立促進計画の変更について
- (2) 花巻市辺地総合整備計画（谷内地区）の変更について

6 議事の概要

- (1) 開会（菊池地域振興課課長補佐）
本会議の成立報告（花巻市地域自治区設置条例第9条第2項）
- (2) 挨拶（松葉会長）
- (3) 議題 会長（松葉会長）が進行
 - ・花巻市過疎地域自立促進計画の変更について
 - ・花巻市辺地総合整備計画（谷内地区）の変更について上記について、東和地域協議会委員から意見聴取を行った。
- (4) その他
東和地域の主要課題等に対する市の取組み状況について
 - ・県立東和病院の再編統合について
 - ・浮田保育園の閉園について
- (5) 閉会（菊池地域振興課課長補佐）

※会議での主な発言内容は、以下のとおり

【(3) 議題について】

- ・花巻市過疎地域自立促進計画の変更について
(菅野秘書政策課長が資料により説明)

小原順委員

スポーツ施設の件について、和田プールは6～9月がシーズンだが、改修はシーズンに間に合うものかお伺いしたい。

菅野秘書政策課長

ろ過器設置のスケジュールを確認し回答させていただきます。設計等が必要でありシーズン開始までにとというのは難しいものと考えられます。

小原順委員

プールのろ過機が相当老朽化している。当該施設は東和地域にとって大事な施設でもあるので、計画的な修繕等の対応を検討いただければありがたい。

多田潤委員

今回の追加変更事業一覧には5つの事業が掲載されているが、なぜ今の時期に計上されたのか。

菅野秘書政策課長

施設の修繕計画は各課で立てておりますが、過疎債を充当するには、過疎計画に事業の掲載を行う必要があります。今回掲載する事業は、令和2年度に実施する事業で、過疎債の対象となるものを確認し、計画に掲載したものです。

小原さおり委員

スポーツ施設について、大迫テニスコートは、大迫高校はじめそのほか市内の中学校も結構使用しているが、改修等の事業は、各学校などの機関にも情報が提供されるものか。

菅野秘書政策課長

使用者にわかるような周知の要望があったということで、スポーツ振興課にはお伝えします。まだ、予算が確定しておらず、どの事業も実施が確定している段階ではありませんので、現時点ではまだ計画ということでご了承願います。

武政文彦委員

資料の一番目に記載されている第3セクターについて、いわちくに対し出資ということは増資するということだと思うが、経営状況や財務状況について簡単で良いので教えていただきたい。また、第3セクターの施設更新をする前には、関係市町村が出資するというのが慣例なのか。ほかの方法はないのかと思い、この3点について教えていただきたい。

菅野秘書政策課長

まず、3点目のご質問については、㈱いわちくは、家畜を出荷している市町村から出資を受けて成り立っているという経営状態のため、何かをしようという時には構成する市町村に出資を、ということをお願いされているものです。花巻市でも出資を要請されており、出荷頭数等の割合等、適当な割合によって出資しようとしているという状況です。経営状況については、確認の上回答いたします。

武政文彦委員

承知した。このような議論をする際には、出資対象となる企業がどういう財務状況であるかを見据えて、最低でも5年くらいの財務の推移を見ないと、せっかく出資したけれども十分に生かされなかったということで、後で問題が発生する可能性もあると思う。

菅野秘書政策課長

おっしゃる通りだと思います。花巻市でも現在の経営状況等について確認を行った上で増資

を決定したものです。

松葉会長

他に質問などはございませんでしょうか。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終了します。

花巻市過疎地域自立促進計画の変更について、市当局におかれましては、只今、出されました意見を参考にいただければと思います。よろしく願いいたします。

松葉会長

続いて、(2)の花巻市辺地総合整備計画（谷内地区）の変更について、説明をお願いします。

（菅野秘書政策課長が資料により説明）

松葉会長

何かご意見ご質問等ございますか。

小原順委員

谷内の国指定重要文化財の旧小原家住宅には、これまで消火設備がなかったのか。

佐々木皇子委員

地元に住居して知っているのでお話しします。もともとは消火銃があったのですが、老朽化により故障等の不具合が生じ撤去したとのことでした。

菅野秘書政策課長

佐々木委員のご発言のとおり、従来の設備を撤去して、新たな消火設備を整備しようとするものです。

松葉会長

他に質問などはございませんでしょうか。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終了します。

谷内地域に新しく消防の設備ができるとのことなので、よろしく願いいたします。

それでは(2)の花巻市辺地総合整備計画（谷内地区）の変更について終了いたします。

【(4) その他について】

- ・ 県立東和病院の再編統合について

（長山地域医療対策室長が資料により説明）

松葉会長

それでは、説明がありました。この件についてのご質問、ご意見ございませんか。

小川洋征委員

このことについては、東和地域の新年交賀会で上田市長からも話があった。また、新聞や説明資料に出てくる専門用語について、地域住民が理解できないことがある。急性期、回復期など、どういう意味か。地域地包括ケアの病床の意味とか。市として医療用語を住民に周知する対応を実施してほしい。

東和病院の来院を勧められているが、予約しても待ち時間が長時間となる傾向があるため慢性的な病気を持つ住民は、開業医の方に行かれると思う。そのため、どういう人なら東和病院に行くべきかはっきりできたら良いと考える。

長山地域医療対策室長

東和病院は、どちらかというと個人開業医的な身近な病院であるという扱いになります。

会議などでも1～2時間待たされるという話を聞きますが、救急患者の受け入れをしていると優先順位が救急優先となるため、申し訳ないのですが、できるだけ頑張っているのですが、待つことが発生してしまうということでした。

また、東和病院については、入院患者の受け入れをしておりますが、ある程度回復してきた患者を受け入れる病院ということになりました。確かに医療用語は多く大変ですが、その部分は関係機関と相談しながらわかりやすく広報していけるようにしたいと思います。

松葉会長

他に質問などはございませんでしょうか。

(委員から「なし」の声あり)

それでは質疑を終了いたします。長山室長ありがとうございました。

- ・浮田保育園の閉園について

(岩間教育部長が資料により説明)

松葉会長

それでは、説明がありました。この件についてのご質問、ご意見ございませんか。

武政文彦委員

これは感想ということになるが、旧東和町時代に東和地域の小学校統合を検討する委員会の委員だったが、そのとき統合に反対していたが結果的に1つになった。

その時に危惧していたことが現実になっている。地域の小学校、保育園がなくなるということ

は、地域自治が壊れる一つのきっかけになっている。統合先へ移っていく子供たちは友達が増えることは良いことだと思うが、地域への愛着は間違いなく無くなる。放課後に地域で遊ぶこともなくなる。今後、東和地域でのコミュニティが壊れていくのを指をくわえて見ているしかないかなと思っている。

社会教育に力を入れるべきだとの話もあるが、現在、社会教育は全く取り組まれていない。そういうのを見てきているので、当事者が了承したのだから、これは仕方のないことだが、地域崩壊への歯止めというのを手当てしないとどんどん人口が減ると思う。

資料では、土沢保育園は定員オーバーになっている。子供がいなければ、人はその地域に住もうという気にならない。今後どんどん土沢への一極集中が進むことになると思う。土沢に住むものとしては、良いところもあるが、自治としては大変な部分もある。

保育園がなくなることによって地域がどのような変遷をするのか、是非、課を横断して見て行ってほしいと思う。

松葉会長

ありがとうございます。ほかにございますでしょうか。

小川洋征委員

保育園運営については、今後どうするか、長期的なビジョンはあるか。他の地域では、統廃合や民営化が進んでいるところもあるが、花巻においても、幼稚園、保育園の長期的なあり方について計画を立てて示していただいた方が対策を立てやすいのではないか。

また、日本人で英語を話せる人が非常に少ない。香港などでは保育園の時から英語教育が行われている。幼稚園から外国人と接するような教育ができればと思う。

岩間教育部長

長期計画の所について回答いたします。市ではこども子育て総合支援計画というものを計画しております、パブリックコメントも載せております。来年度から5か年の計画で、今後の保育事業についても載せておりますので、是非ホームページを確認していただき意見がありましたら、ご意見を寄せていただきたいと思います。

また、来年度から、2期の計画ということで、再編などについて計画予定となっております。1期では、主に民営化についての計画でしたが、2期については、その民営化が果たして可能か、今後の保育園をどうすべきか、幼稚園の小規模化が進んでいる所で保育園の需要があがっており、その部分

について策定予定で、その際には是非意見をお願いしたいと思います。

佐藤教育長

英語教育については、大学入試も含め議論されております。小学校では英語の履修が明記されております。花巻市では、前倒しで小学校においては完全実施しております。ALTの先生方に協力いただき、勉強しております。現在は、聞く、話すというところで大分教育が進んでいると思います。

ただ、英語ばかりやっても他の教科がどうだという所もありますが、現在はそのような形で教育体制が整いつつあります。

後は4つの姉妹都市が花巻にあり、交流事業が行われておりますが、子供たちも一生懸命勉強をして応募している所で、徐々にですが英語力が高まっている所なので、長い目で見ていただければと思います。

松葉会長

他に質問などはございませんでしょうか。

(委員から「なし」の声あり)

それでは、浮田保育園の閉園については以上といたします。

松葉会長

他にどなたか、何かございますでしょうか。

(委員から「なし」の声あり)

それでは、以上で、本日の協議会会議を終了いたします。委員の皆様大変ありがとうございました。